経営比較分析表（令和5年度決算）

兵庫県　姫路市

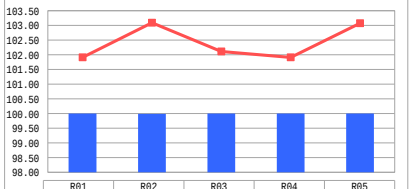
業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	農業集落排水	F1	自治体職員
資金不足比率(%)	**自己資本構成比率(%)**	**普及率(%)**	**有収率(%)**	**1か月20m³当たり家庭料金(円)**
-	62.59	1.29	92.98	2,629

人口（人）	面積(km²)	人口密度(人/km²)
525,884	534.56	983.77
処理区域内人口(人)	**処理区域面積(km²)**	**処理区域内人口密度(人/km²)**
6,783	1.95	3,478.46

グラフ凡例
- ■　当該団体値（当該値）
- ー　類似団体平均値（平均値）
- 【】　令和5年度全国平均

1．経営の健全性・効率性

①経常収支比率(%)　【104.44】

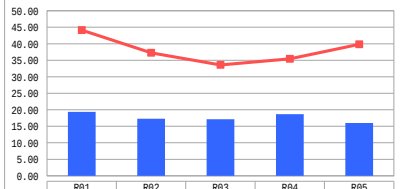


	R01	R02	R03	R04	R05
当該値	100.00	99.99	100.00	100.00	100.00
平均値	101.91	103.09	102.11	101.91	103.07

②累積欠損金比率(%)　【124.06】

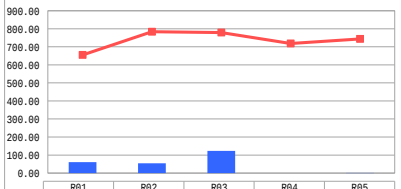
	R01	R02	R03	R04	R05
当該値	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
平均値	127.98	101.24	124.90	124.80	120.64

③流動比率(%)　【42.02】



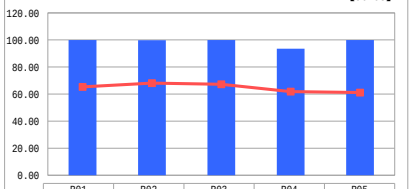
	R01	R02	R03	R04	R05
当該値	19.34	17.28	17.16	18.66	15.98
平均値	44.14	37.24	33.58	35.42	39.82

④企業債残高対事業規模比率(%)　【785.10】



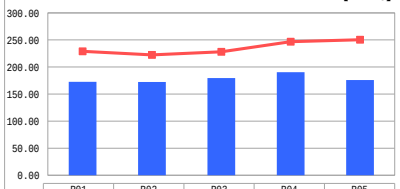
	R01	R02	R03	R04	R05
当該値	60.64	54.62	123.10	0.00	1.36
平均値	654.71	783.80	778.81	718.49	743.31

⑤経費回収率(%)　【56.93】



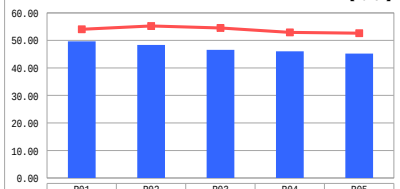
	R01	R02	R03	R04	R05
当該値	99.92	99.82	99.93	93.60	99.97
平均値	65.37	68.11	67.23	61.82	61.15

⑥汚水処理原価(円)　【271.15】



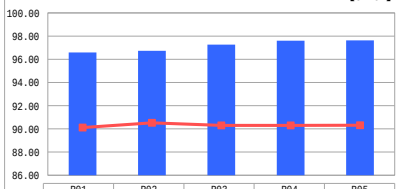
	R01	R02	R03	R04	R05
当該値	172.61	172.29	179.71	190.32	175.89
平均値	228.99	222.41	228.21	246.90	250.43

⑦施設利用率(%)　【49.87】



	R01	R02	R03	R04	R05
当該値	49.64	48.34	46.60	46.04	45.21
平均値	54.06	55.26	54.54	52.90	52.63

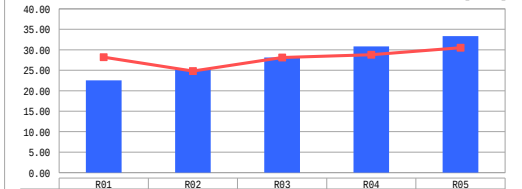
⑧水洗化率(%)　【87.54】



	R01	R02	R03	R04	R05
当該値	96.59	96.73	97.26	97.61	97.63
平均値	90.11	90.52	90.30	90.30	90.32

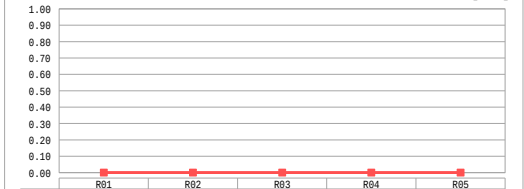
2．老朽化の状況

①有形固定資産減価償却率(%)　【28.42】



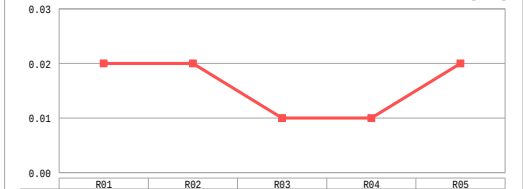
	R01	R02	R03	R04	R05
当該値	22.55	25.33	28.10	30.82	33.34
平均値	28.19	24.80	28.12	28.79	30.50

②管渠老朽化率(%)　【0.08】



	R01	R02	R03	R04	R05
当該値	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
平均値	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

③管渠改善率(%)　【0.02】



	R01	R02	R03	R04	R05
当該値	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
平均値	0.02	0.02	0.01	0.01	0.02

※　「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のみの類似団体平均値及び全国平均を算出しています。

分析欄

1．経営の健全性・効率性について

農業集落排水事業は、平成26年度から地方公営企業法の一部を適用（財務規定を適用）し、企業会計方式を導入すると同時に下水道事業会計に会計統合しました。また、使用料体系についても下水道事業に統一しました。

令和４年度からは、水道事業との組織統合に伴い公営企業法全部適用に移行しました。

料金収入等の収益をもって、維持管理費や支払利息等の費用をどの程度賄えているかを示す「経常収支比率」や、営業収益に対する累積欠損金の状況を示す「累積欠損金比率」はおおむね良好ですが、これは一般会計からの繰入れを行っていることによります。

使用料で回収すべき経費をどの程度使用料で賄えているかを示す「経費回収率」、有収水量１㎥あたりの汚水処理に要した費用である「汚水処理原価」は、全国及び類似団体平均と比較して良好です。

また、料金収入に対する企業債残高の割合で企業債残高の規模を示す「企業債残高対事業規模比率」、処理区域内人口のうち実際に水洗便所を設置している人口の割合を示す「水洗化率」は、全国及び類似団体平均と比較して良好です。

2．老朽化の状況について

最も古い処理場の供用開始が昭和63年4月であり、法定耐用年数に達した管渠がなく更新投資を行っていないことから、法定耐用年数を超えた管渠延長の割合を示す「管渠老朽化率」や、当該年度に更新した管渠延長の割合を示す「管渠改善率」は共に0%となっています。

将来、下水道事業全体で施設の改築更新に多額の投資が必要になるものと見込んでいます。集落排水処理施設については、原則として公共下水道区域に近接し老朽化が激しい地区から順次、公共下水道に接続する予定ですが、改築更新が必要な処理場については施設の長寿命化及び投資の平準化に努めます。

全体総括

経営の健全性・効率性、老朽化の状況を示す各指標は、現時点において全国及び類似団体平均と比較して良好ですが、将来は施設の改築更新に多額の投資が必要になることから、下水道事業の経営環境は予断を許さない状況にあります。

姫路市には令和5年度末で農業集落排水処理施設が10か所存在していますが、前述のとおり公共下水道に接続することにより、維持管理費及び改築更新費を削減し経営効率を高めていく予定です。

今後も引き続き、下水道事業経営戦略に基づき、健全経営に努めます。